

無料版

11月号



毎月1日発行
第115号 定価 850円 (税込み 935円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場 3-23-3 ORビル6階
☎ 03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます
購読・広告のお申し込みは
☎ 03-3371-9340
発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

7面

中古車輸出

絶好調マレーシア向けの最新情報

13面・検査の匠

トヨタ・ヤリスの注意点をほ?

新車

より

高い

いつまで続く?

中古車



中古車相場は9月中旬まで高値が続いたが、下旬には国産車と輸入車の高年式で、価格下落が見られた。10月に入ってから、国産車ではより低年式の相場に波及する動きもあれば、輸入車や軽自動車は横ばいで推移するなど、車種や年式で様々な動きとなっている。

今回は、そのような中古車相場の動きの中で、新車価格より高い中古車を扱う。例えば、アルファードで輸出されるモデルの代表格であるSCパッケージは、7月〜9月に800万円を超える価格となるものがあり注目を集めた。現在は、このようなビックリするような価格からは下落しているが、それでも、新車価格と比べるとまだ高い。

そのような現象が発生するのは、輸出が関係していることが多い。今回は新車より高い中古車をピックアップして、どのような国にどのような車が輸出されているかを明らかにし、その相場動向を見ることとする。

《2面へつづく》

ご入会前にシステムにログインできる 利用体感キャンペーン



オークネットなら、3チャンネル同時に応札できます!

業界最多 リアル応札接続数 77会場
総接続数 111会場
3会場・3レーンに同時参加!

さらに!

車両検索画面では、優良会員店であるGold・SilverアイコンやAIS検査付アイコンで絞り込みも簡単!



★問合せフォームに「体感キャンペーン希望」とご記入ください。

お問合せ・資料請求はこちら!



2022年製造車

6月以降、8月までは価格が急騰する中古車がいくつも見られ、編集部にも「この車はなぜこんなに高いのか」というお問い合わせを多数いただいた。本紙でも、ハイブリッド車やロシアに行く車を一覧表で整理してきた。

7月9日は、冒頭で触れたようなアルファードの価格動向が話題となり、その他にも、当社が発行しているユーストカー総合版10月号ではGTR、NISMOが400万円超えとなっていることなどを伝えた。皆様は心配されているように、足元では高年式を中心に相場は調整局面に入っている。ただし、それでも新車価格より高い、あるいは同程度の価格となっている中古車がある。

なぜ、こんなことになるのか。表やグラフで車をいくつか紹介するが、国内で人気があることはもちろんだが輸出が関係していることも大きい。今回は、新車より高い、あるいは同等以上となっている中古車を、輸出先を明確にしながら紹介・説明する。一般的に中古車価格は時間の経過とともに下落するので、新車より価格が高くなりやすいのは、より新しい車、例えば今年生産されたような車と

考えられる。ここでは、2022年製造車で、海外への輸出実績のあることを切り口にピックアップしてみた。実は、ここで挙げた以外にも海外に行っている車はある。ただし、AA以外のルートで調達されるため、相場に影響が無いものは基本的には除いている。

ロシア向け車種の高騰にルーブル相場が関係しているであろうことは、これまで紹介してきたので、今回はタイパーツの動きをグラフ化してみた。タイはアルファードの当年モノが行く国である。

タイパーツも世界的に円安が始まった3月初め以降、5月まで急上昇し、その後、8月初めまで下落した時期はあるが、高値を維持している。実は、編集部ではアルファードの価格変動があった時には、このグラフを確認していたものである。この為替レートの動向に、世界的な新車不足が

輸出相手国を見ると、シンガポール、タイ、香港、ロシアといった国が並ぶ。商業的な輸入が禁止されている国もあれば、インドネシアのように、本来、自動車輸入が禁止されている国もある。

高値を付けたのは7月から9月だが、相場は6月から上昇を始めた。その大きな理由の一つに、円安の進行があるとみている。円安であれば、海外の販売業者は、現地通貨建ての価格は同じでも、円建てではより高く仕入れても良いことになる。

重なったことが、当年モノの価格上昇につながったようだ。今回、表に挙げた国の中で、これまでも、タイ、香港、シンガポールには当年モノが輸出されていた。昨年までは高年式車の輸入が少なかつたロシアでも海外メーカーが新車生産やロシア向け輸出を停止したため、高年式車の需要が高まったようである。

そのような車の価格は下がらないだろう。ただ、バン格拉デシュは外貨準備の状況が不安定だ。いずれにしても、行く国ごとにリスクを見定めて、仕入れ・買取を行なうことが重要だろう。当年モノで海外に行く車は多いが、相場が新車より高くなるのは、国内でも入手困難な車が多い。とくに今は、いつ手に入るかわからないのだから、具体的に、いつ何を仕入れるといえる訳ではない。ただ、傾向を把握して、お客様にアドバイスするといったことは

傾向と対策
車・グレードによって行く国・相場が異なるので、そこを見極めなければならぬ。インドネシアなどは、元々輸入が禁止されており、現地没収のリスクがある。とはいえ、GTR、NISMOは入手困難、インドネシア以外でも売れるかも知れないが、

今回わかったのは、例えばアルファードであれば、これらの車種は長期的に相場に安定感があるといえる。ただし、

また、



有料版では、モザイクの部分をお読み頂く事ができます。お申込みは 電話03(3371)9340まで!

当年モノが行く主な国と車種 (新車本体価格より高いもの)

当年モノが行く主な国	規制	行く車
シンガポール	初度登録月からの経過月数 35 ヶ月まで (注)	ヴェゼル (RV3-G)、ヤリスクロスハイブリッド (MXPJ10-G, X)
香港	製造年規制、登録年規制は無し	
タイ	個人用、政府関係、再輸出目的	
バン格拉デシュ	製造年 5 年落ちまで	
ロシア	無し	
オーストラリア	製造年規制、登録年規制は無し	
UAE	再輸出拠点	
トリニダード・トバゴ	製造年 4 年落ちまで	
インドネシア	禁止	

(注) 新車扱いとする場合、輸出国で新車新規登録後 14 日以内に抹消登録された自動車をシンガポールに 3 か月以内に輸入 (港に着く) する必要あり



USS岡山会場 大創業祭AA

11月12日 sat 10:00~START

全コーナー流札時 / 出品料2,000円

Big Event

USS岡山会場

11月12日 sat 10:00~START

全コーナー流札時 / 出品料2,000円

USS (株) ユー・エス・エス岡山会場

2開催合算 / 出品落札台数賞

対象イベント: 11月5日(土)・11月12日(土)

※該当範囲以内で組み合わせ自由 (ご来場の会員様に限らせていただきます) ※写真はイメージです

11月5日(土)

出品 or 落札

選べるミスタードーナツ (8個)

11月12日(土)

成約 or 落札

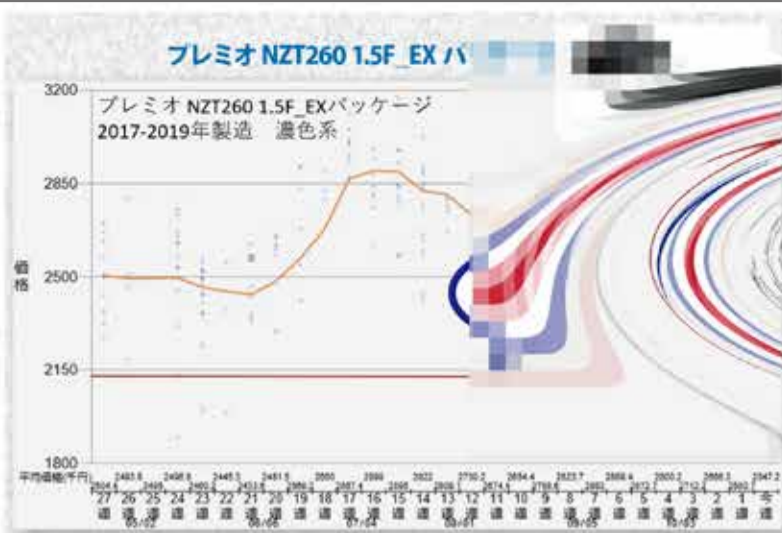
季節の堂島ロール
マロンロール (フルサイズ)

ガラポン抽選会

当日の再出品お申し込みで1台につき1回! (上限なし)

豪華賞品グッズのチャンス!!

〒709-0823 岡山県赤磐市長尾 554-1 TEL/086-955-9000



数年経っても新車より高い車

ここまでみてきた、当年モノ(かつ走行距離0km)というような車でも、数年乗った後でも価格が高い車は、これまで

も本紙で取り上げてきたが、今回のテーマに沿っておさらいしておこう。これには、当然、輸出が関係している。以下の

ロシア向け 車種一覧

ロシア向け輸出の多かった車種・型式・年式 (2021年)

車種	型式	ロシア向け輸出の多い年式(製造年)	8~9月以降の相場動向
ヴォクシーハイブリッド	ZWR80G	2014~2015	9/12週ピークで下落
フリード	GB5	2017	9/19週がピークだが高値圏
フリード	GB3	2008~2012	2008-2012 9/5週ピークで下落傾向

有料版では、モザイクの部分を全てお読み頂く事ができます。お申込みは 電話03 (3371) 9340まで!

車について、最近の状況を確認したい。ここで、主役となるのは、従来と同じく、バン格拉デシユ、マレーシアだろう。なお、中古車相場に影響を与える国の代表格であったパキスタンは、完成車の輸入禁止措置が8月18日に解除されたが、同時に関税が引き上げられており、日本からの輸出動向を見ても、現時点では主役とはいえない。

プレミアム
ただし、残り少ないか

バン格拉デシユ向け輸出の代表車種だったプレミアム(NZT260 1.5 EXLパッケージ)。令和3年3月が最終製造だが、これまでの輸出ペースが速く、バングラデシユ向け輸出台数は、

アルファード
マレーシア向け輸出の代表であるアルファード(AGH30WS_Cパッケージ)。新車の本体のみなら400万円程度だが、AAでは480万円前後となっている(SR、モデリスタエアロ付き)。

なお、ユーストカー総合版11月号ではマレーシア、バン格拉デシユ等へ輸出される車種を一覧表で掲載している。ご確認いただきたい。

ロシア向け 輸出の動向



これまでのところ、今年の中古車市場の主役はロシアだった。6月以降、ロシア向けと思われる車種は、2面の表に記載した当年モノ以外にも急激な価格上昇が見られ、過去の本紙でも説明してきたところである。

ただし、足元でロシア向けと思われる車種に相場下落がみられる。ハイブリッド車やSUVの価格下落にはロシアの影響が疑われる。今回、改めて、これまでに取り上げたロシア向け車種(8月号に一覧表を掲載)の相場をみてみた。今回は、下落しているものを中心に一部のみ示した。

傾向をまとめると、

車が、

多。また、9月中の価格下落は小さかったの

も月1万5000台であった。今年の7月、8

車どころではない状況になっているという話がある。

また、物流面では、

昨年の中古車輸出は多くても、逆風となっているの

もある。

このような環境下、実際のAAの現場でも、

月には2万台を超えた。ロシア向け輸出は、

に、最近になって大きく下落している車もある。ロシア向けに関しては、以下のような状況が影響しているようだ。

まず心理面では、

うである。ただし、ロシア向け輸出が完全に止まっている訳ではなく、熱狂状態が通常の状態に戻った、とでもいうような状態だろう。

また、米国防務委員会の急激な利上げなどが見込まれ、世界的に経済見通しは不透明。マネーの萎縮というようなことも、逆風となっているの

いすゞニューマックス創立記念!!

3会場来場者限定

オリジナル記念品
「光るナンデモ充電くん」
プレゼント

スマートフォン ゲーム機
電子タバコ ワイヤレスイヤホン
どんなタイプも接続可!

9 東京会場

出品賞・落札賞
進呈

10 九州会場

出品賞・落札賞
進呈

11 神戸会場

出品賞・落札賞 **進呈**

スペシャル
限定ランチ

東京会場 出品&落札で抽選会

食品家電が当たる

開催期間 11/2 - 11/30

出品(5開催) 落札(4開催)

11月2日 11月2日
11月9日 11月9日
11月16日 11月16日
11月23日 11月23日
11月30日

足元の相場動向について

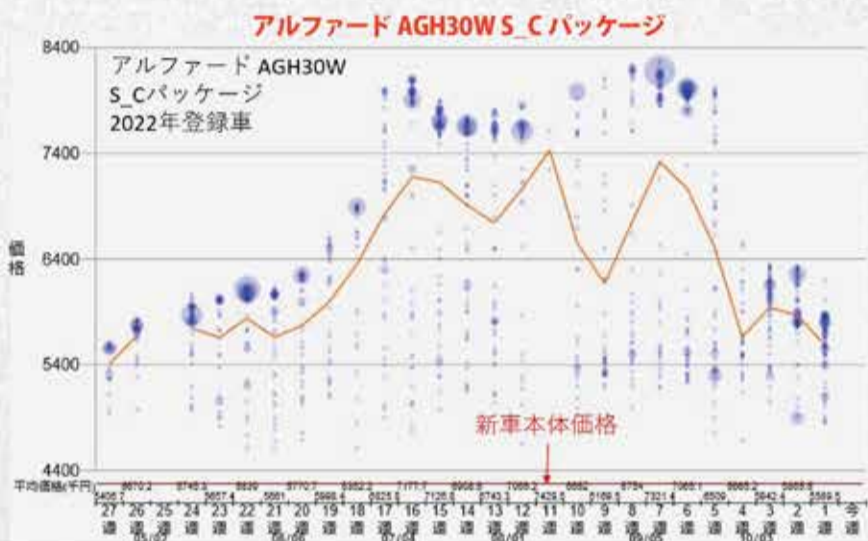
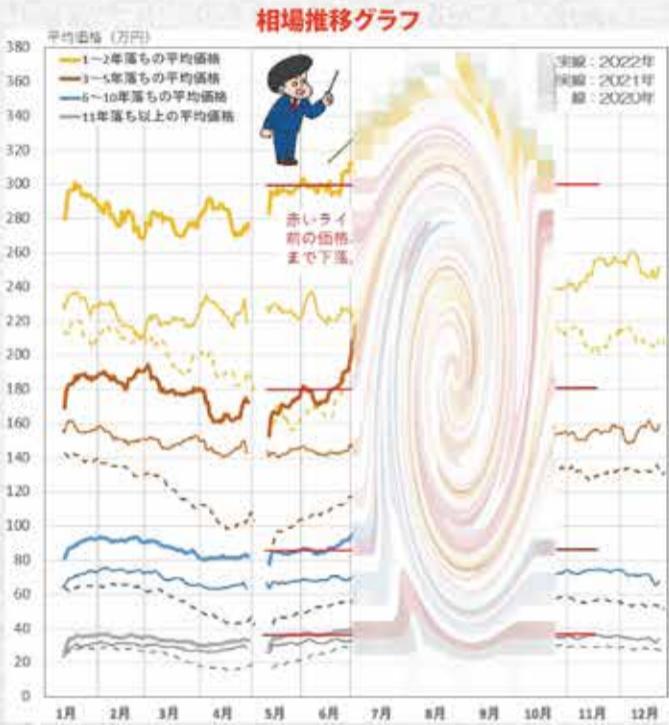
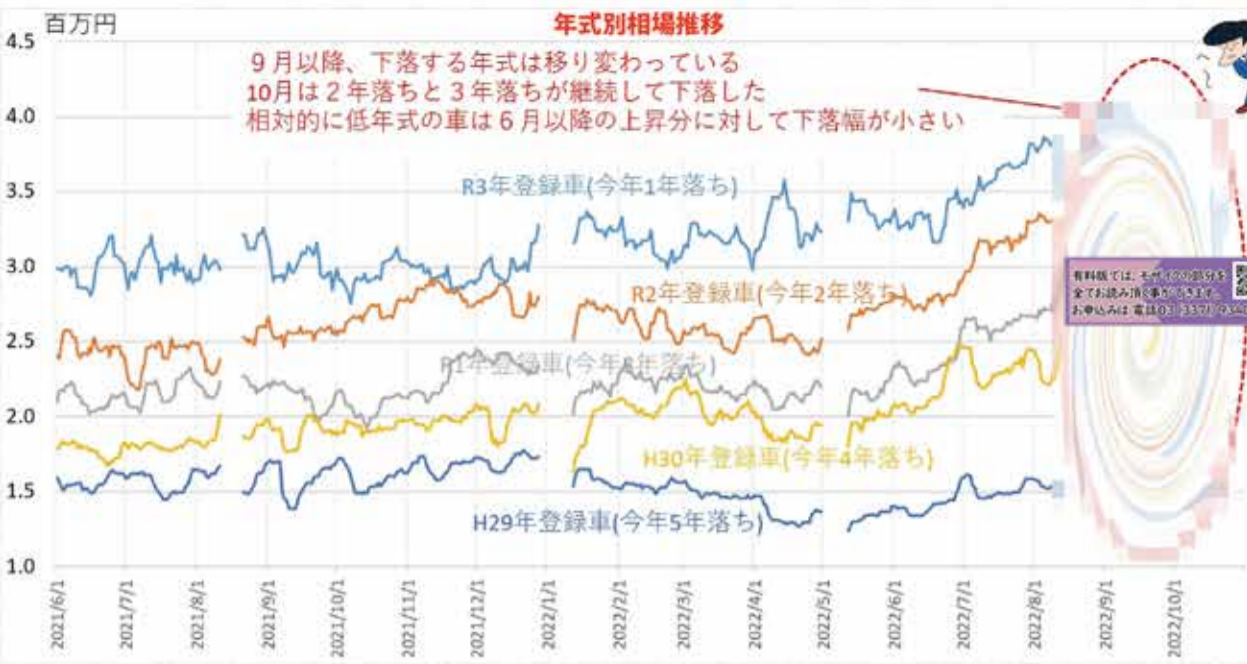
ここまで、個別の車の価格動向を見てきたが、冒頭で触れたように、中古車相場は調整している。相場全体の動向を把握・展望しておこう。

ことを認識す

べきと考えている。現象としては、高年式から順に価格が下落している。1、2年落ちが震源。一時期、当年モノに波及したが、そこはすぐに治まった。その後、3年落ち、4年落ちの価格下落に至っている。ただ、高年式の価格下

落も、かになってきている。暴落と表現するような値動きではない。相場が下がったので、ビックリして売りに出した人がいるといったところではないだろうか。改めて現状を振り返ってみれば、ロシアが波乱要因となったかもしれないが、中古車相場を下支

(24面も)参照。



ご入会前にシステムにログインできる 利用体感キャンペーン

オークネットなら、**3チャンネル**同時に応札できます!



3会場・3レーンに同時参加!

業界最多 リアル応札接続数 **77会場** 総接続数 **111会場**

さらに!

車両検索画面では、優良会員店であるGold・SilverアイコンやAIS検査付アイコンで絞り込みも簡単!



お問合せ・資料請求はこちら! ▶



★問合せフォームに「体感キャンペーン希望」とご記入ください。